

【第29号】令和7年(2025年)12月20日

発行：鹿児島県歯科医師連盟 〒892-0841 鹿児島市昭国町13番15号 発行人：堀川清一 編集：連盟広報委員会
TEL (099) 805-0334 FAX (099) 227-0022 メールアドレス：kdpf@po5.synapse.ne.jp
鹿児島県歯科医師連盟ホームページ <https://www.kashiren.jp/>

Contents

- 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・（1面）
- 理事長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・（1面）
- さくら島・・・・・・・・・・・・・・・・（1面）
- 鹿児島県歯科医師連盟の役割・活動の成果・・・（2面）
- 役員・支部長・評議員一覧・・・・・・・・（2面）

鹿児島県歯科医師連盟ニュース

minamikaze
みなみかぜ vol.29

会長挨拶



鹿児島県歯科医師連盟
会長 堀川 清一

まずは、7月の参院選については、会員の先生方のご協力にもかかわらず残念な結果になってしまったことをお詫び申し上げたいと思います。医療関連4団体の中で候補者を落としたのは歯科医師会だけでしたから、歯科界の先行きが危ぶまれております。国民歯科議連、国民皆歯科

健診実現議連などへの影響も計り知れません。
9月に開催された日歯連盟の臨時評議員会でも選挙総括がなされましたが、支持母体の会員数がほかの団体と比べても小さいことやデンタルミーティングの在り方など、様々な分析がなされました。しかし、これまでも他の団体よりは得票していたわけですから、歯科関連団体の規模を考慮すれば、今回の結果はどうにもいまだに腑に落ちません。全国での得票は101,000票余りでほとんど選挙運動ができなかった前回より減り、鹿児島は1,673票で6年前と比較すると15票減です。ただ、会員一人あたりの得票率でみると、地元ともいうべき九州・沖縄は他県より得票しており、鹿児島が全国5位となっております。いつも以上に（という用語弊がありますが）はがき、TEL、個人演説会、SNSなどできることはすべてやったつもりでございましたが、まったく票は伸びませんでした。この傾向はどの県でも同じような傾向がみられました。自民党への逆風、議員の失言、岩盤保守層への参政党・日本

保守党の切り込み、選挙区での票の流れなど様々な敗因が考えられます。しかし、これらの影響はどの医療系の連盟組織においても言えることなので、6年後に向けてしっかりとした対策を立てなくてはならないと思います。日歯連盟としては、これからやりにくくなるであろう保険改定や皆歯科健診の実現、保険指導対策、衛生士・技工士問題などへ全力で対応しなくてはならないだろうと考えています。
その今度の診療報酬改定についてですが、この文章を読まれているところには改定率が決まっていると思います。改定率は「診療報酬全体の増減率」を示しますが、例えば「+0.88%」なら、医療機関に支払われる報酬が全体で0.88%増えることを意味します。しかし、実際には算定率という微妙な問題が存在します。算定率に合わせて使われる点数を予想して、改定率から導き出される必要な額の差し引きをやることになります。これからの細かい交渉が注目されるところです。

理事長挨拶



鹿児島県歯科医師連盟
理事長 増山 智美

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
鹿児島県歯科医師連盟理事長として、県歯科医師会並びに関係各位のご理解とご協力のもの

と、地域医療の充実や歯科医療制度の改善に向け、政策提言活動や組織の活性化に努めてまいりました。これまでの活動を支えてくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。
さて、一昨年の衆議院選挙、昨年は参議院選挙とかなり厳しい戦いとなりました。とりわけ参議院選挙においては連盟が推薦する比嘉奈津美候補の落選という残念な結果に終わり、今後の歯科界を取り巻く環境の行く末を危惧しているところでもあります。歯科医師連盟活動は基本的に政権与党である自由民主党を中心に政策提言・支援活動を行ってきた政治団体です。高市新首相が自民党内での調整に奔走している姿がテレビでよく見かけられると思いますが、必ずしも1枚岩ではないのも周知の事実です。ただ、自民党内には「歯科医療問題議員連盟（歯科議連）」という、かなり大きな政策集団が存在し、歯科界の要望を国政に反映させる場とし

て機能しています。私共が支援活動を行う最大の理由がそこにあります。今後もこれまで培ってきた基盤をさらに強化し、県民の口腔の健康を守るための環境づくり、若手歯科医師の参画促進とした組織強化、そして政治・行政への積極的な働きかけをより一層推進してまいります。また、歯科医師連盟としての使命である「国民の健康を守るための歯科医療の発展」に向けて、県歯科医師会と連携を深めながら、信頼される組織づくりを目指してまいります。
最後に、連盟の活動についてさらにご理解をいただきたく昨今の歯科医師連盟の具体的な活動について記事を掲載してありますので、会員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、二期目のご挨拶といたします。

さくら島



鹿児島県歯科医師会
会長 伊地知 博史

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事と存じます。
7月の参院選においては、組織代表の比嘉奈津美候補を国政に送り出すことが叶いませんでした。沖縄県歯科医師会の役員の頃から繋がりのある先生で非常に残念に思っております。これまでのご活躍に対しまして、心より感謝申し

上げたいと思います。
さて、歯科界におきましては、物価や人件費等の高騰、医療DXへの対応、無歯科医地区の増加と地域偏在、事業継承・後継者不足、歯科衛生士や歯科技工士の人材不足など多くの課題を抱えており、地域歯科医療提供体制の持続可能性が危ぶまれております。
また、我が国は、少子高齢化・人口減少が進行し、2040年には65歳以上の高齢者人口がピークに達し、現役世代の人口が急減することが想定されることから、労働力人口の減少、社会保障費の増加等の問題に直面すると考えられ、国はこれらの問題への対策の一つとして、健康寿命の延伸を掲げています。そして、歯と口腔の健康と機能が、全身の健康・健康寿命の延伸に寄与得るという事から、ますます歯科医療の充実と口腔健康管理の重要性がかつてないほど大きな注目を浴びてきています。
そのような中、令和8年度は診療報酬改定の年です。私たちは、「国民皆保険制度」のもと、日々、歯科医療を通じて社会に貢献させてい

ただいております。そして、議会制民主主義のわが国では、医療を行う上で医療法・健康保険法などの法律によって規定されております。歯科医師会の目的を達成するためには、歯科界の代表団体として組織代表議員を立法府に送り出し、政策提示を行うことと共に立法府・政党内での情報収集が必須となります。そこで必要なのが連盟であります。連盟は、歯科系議員等を通じて、歯科医療の重要性和と財源確保を訴えます。「歯科医師会」と「政治」を繋ぐパイプ役です。
鹿児島におきましては、過去の経緯と公益社団法人たる鹿児島県歯科医師会が、選挙支援などの政治活動が制限されているため、鹿児島県歯科医師連盟とは、厳に峻別しておりますが、常に車の両輪という緊密な関係を保っていかねばなりません。連盟組織力のますますの拡大を図り、「医政なくして医療なし」のもと、一致団結して連盟活動を強力に執行していただくようお願い致しますとともに、連盟のますますのご発展を祈念致します。

鹿児島県歯科医師連盟の役割・活動の成果

日本歯科医師連盟は政治力を強化し、日本歯科医師会の目的を達成させるために必要な政治活動を行い、国民医療の発展に資することを目的として設立されています。その役割は多岐にわたりますが、身近で分かりやすいものを列記すると

- ・診療報酬改定率に対するロビー活動
- ・経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)への歯科医療の重要性の提言
- ・セーフティネットの指定業種への歯科の追加
- ・租税特別措置法26条
- ・国民皆歯科健診の実現
- ・災害時歯科保健医療提供体制整備事業の導入

鹿児島県歯科医師連盟では、学術団体である公益社団法人鹿児島県歯科医師会と密接な連携のもとにそれ以外にも様々な補助金へのアプローチをしてきました。最近では歯科学院専門学校へのCADの導入、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金の獲得、さらに2022年度には県との交渉の結果、地域創生臨時交付金として会員に一律8万円が給付されました。

○地域医療介護総合確保基金事業 (歯科技工デジタル化システム整備事業)

年 度	費 用	備 考
平成30年度	5,632,000円	歯科学院専門学校(CAD CAM)

合 計 5,632,000円

○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助

年 度	費 用	備 考
令和2年度	1,250,000円	口腔保健センター

合 計 1,250,000円

○地方創生臨時交付金

年 度	費 用	備 考
令和4年度	80,000円	会員一律

さらに会館建設では、会員の先生方に負担を一切かけずに建設するという会館建設検討委員会の定めた大命題のもとに、県歯会執行部から国の補助金を検討するように鹿児島県歯科医師連盟に要請がありました。

そこで、県選出の国会議員、知事にも労をとっていただき、地域医療介護総合確保基金という制度を利用して、地域医療の一端を担うという名目で歯科学院専門学校、センターに対して令和元年、2年と合わせて1億677万円余の補助金が支給されております。

○地域医療介護総合確保基金事業 (歯科衛生士・歯科技工士養成所施設整備事業) (在宅歯科医療連携拠点・障害者等歯科診療所等施設整備事業)

年 度	費 用	備 考
令和元年度	38,828,000円	歯科学院専門学校 27,885,000円 口腔保健センター 10,943,000円
令和2年度	67,949,000円	歯科学院専門学校 48,798,000円 口腔保健センター 19,151,000円

合 計 106,777,000円

この時には、会館建設の間、技工士科の学生募集停止を防ぐために、文科省や国会議員に労をとっていただいて鹿児島大学の一部を間借りする形がとれました。このように、会員、県民のために鹿児島県歯科医師会と車の両輪としての役割を担っている事をご理解いただければと思います。

さらに令和2年度に続き今年度も、鹿児島県歯科医師会を支援する形で災害時歯科保健医療提供体制整備事業の導入に関しては新たな予算を獲得するために活動しております。

○災害時歯科保健医療提供体制整備事業

年 度	費 用	備 考
令和2年度	4,993,000円	口腔保健センター
令和7年度	19,008,000円	申請中 7市郡歯会、口腔保健センター、 歯科巡回診療車

合 計 24,001,000円

鹿児島県歯科医師連盟役員

令和7年7月1日～令和9年6月30日

役 職 名	氏 名
会 長	堀川 清一
副 会 長	山内 和久
副 会 長	高竿 寛実
理 事 長	増山 智美
副理事長(運営)	前田 裕一
副理事長(広報)	迫中 友博
副理事長(組織)	谷口浩太郎
副理事長(広報)	要 光
副理事長(運営)	黒木 敦朗
副理事長(組織)	濱崎 徹
理 事(組織)	池田 敏雄
理 事(組織)	山内 浩人
理 事(運営)	栄 千登美
理 事(運営)	奥 淳一
理 事(運営)	門松 秀司
理 事(組織)	木通 敏文
理 事(組織)	川畑 浩
理 事(運営)	玉井 政孝
理 事(組織)	小脇淳智郎
理 事(運営)	平川 俊洋
監 事	竹之下伸一
監 事	鬼塚 一徳

鹿児島県歯科医師連盟広報委員会

令和7年7月1日～令和9年6月30日

役 職 名	氏 名
委 員 長	米澤 厚士
副 委 員 長	湯田 昭彦
委 員	石神慶一郎

鹿児島県歯科医師連盟市郡支部長

令和7年7月1日～令和9年6月30日

市郡支部名	氏 名
鹿 児 島 市	高竿 寛実
指 宿 市	園田 悟
南 薩	藤崎 哲朗
枕 崎 市	山下 福嘉
日 置 地 区	前田 敏光
薩摩川内市	銀屋 一彦
薩 摩 郡	甫立 宗一
出 水 郡	杉山 光喜
伊 佐 市	中園 幸喜
始 良 地 区	谷口 拓郎
曾 於 郡	新堂 陽一
肝 付	揚野 久利
鹿 屋 市	西之原正明
熊 毛 郡	鎌田 伸樹
大 島 郡	町田 慶太

鹿児島県歯科医師連盟評議員・予備評議員

令和7年7月1日～令和9年6月30日

市郡支部名	評 議 員	予備評議員
鹿 児 島 市	上稲葉 隆	山元 吉和
同	竹内 誠	政 信行
同	佐藤隆太郎	松久保正二
同	橘木 裕	守島 健次
指 宿 市	園田 悟	亀山 秀和
南 薩	藤崎 哲朗	岡村いそ子
枕 崎 市	山下 福嘉	川畑 正樹
日 置 地 区	前田 敏光	樋元 健彦
薩摩川内市	銀屋 一彦	林 廣昭
薩 摩 郡	甫立 宗一	姫野 伸幸
出 水 郡	杉山 光喜	塩山 秀哉
伊 佐 市	中園 幸喜	武 雄二
始 良 地 区	谷口 拓郎	祁答院公興
曾 於 郡	宅間 政次	中原 正和
肝 付	揚野 久利	岩城 嘉郎
鹿 屋 市	西之原正明	安楽 博史
熊 毛 郡	鎌田 伸樹	中村 伸治
大 島 郡	町田 慶太	名越 太

鹿児島県歯科医師連盟

〒892-0841 鹿児島市照国町13番15号
TEL (099) 805-0334 FAX (099) 227-0022
メールアドレス：kdpf@po5.synapse.ne.jp
ホームページ：https://www.kashiren.jp/



鹿児島県
歯科医師
連盟